

学生協働支援隊 福富町久芳地域 活動報告書

【住民アンケートの結果報告と交流会】

- ・ 日 時 : 2023 年 10 月 20 日
- ・ 参 加 者 : 合計 41 名（学生 6 名、地域 35 名）
- ・ 活 動 内 容 : 久芳地域センターで、市民協働支援員による住民アンケートの結果報告会が開かれた。その後、アンケート結果の感想を住民同士で共有する場が設けられた。その際、学生協働支援隊は住民同士の話し合いが円滑に行われるようファシリテーションの役割を担った。6 班に分かれた住民に、学生が 1 班につき 1 人ずつ同伴した。実施後、学生は良かったこと・課題をそれぞれ発見し、次回以降のファシリテーションに活かす心意気だ。今回の報告会を踏まえ市民協働センターは今後の交流会の具体的なテーマを設定し、次回は 11 月 16 日に行う予定である。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



住民アンケートを報告している風景



意見交流会をしている風景

その他の写真 <https://photos.app.goo.gl/UrK27X2RT4MwzFSj9>

学生協働支援隊 福富町久芳地域 活動報告書

【住民意見交換会（安心して過ごせる久芳：移動・空き家・防災）】

- ・ 日 時 : 2023 年 11 月 16 日
- ・ 参 加 者 : 合計 30 名（学生 5 名、地域 25 名）
- ・ 活 動 内 容 : 福富道の駅多目的ホールで、「安心して過ごせる久芳：移動・空き家・防災」をテーマに住民意見交換会が開かれた。学生協働支援隊は、住民の意見を円滑に引き出すためのファシリテーションを行った。5 班に分かれた住民に、学生が 1 班につき 1 人ずつ同伴した。最初に、市民協働センターが住民アンケートの結果（移動・空き家・防災の項目を重点的に）を全体で共有した。その後、住民の意見交換会をパート 1 とパート 2 に分けて行った。パート 1 では住民アンケートの簡単な感想について話し合った。パート 2 では各班で「移動」「空き家」「防災」のテーマ別に分かれて意見を出し合った。5 班のうち「移動」が 2 班、「空き家」が 2 班、「防災」が 1 班の振り分けであった。次回は 11 月 22 日にテーマ「生涯活躍できる久芳：世代交流・子育て」について住民意見交流会を行う予定である。
- ・ 活動の様子：写真の通り。



住民アンケートを報告している風景



「空き家」をテーマに話し合っている風景

その他の写真 <https://photos.app.goo.gl/NBQ8RBBH5dvWZpt3A>

学生協働支援隊 福富町久芳地域 活動報告書

【住民意見交流会（生涯活躍できる久芳：世代交流・子育て）】

- ・ 日 時 : 2023 年 11 月 22 日
- ・ 参 加 者 : 合計 33 名（学生 5 名、地域 28 名）
- ・ 活 動 内 容 : 福富道の駅多目的ホールで、「生涯活躍できる久芳：移動・空き家・防災」をテーマに住民意見交換会が開かれた。学生協働支援隊は、住民の意見を円滑に引き出すためのファシリテーションを行った。6 班に分かれた住民に、学生が 5 班と協働支援員が 1 班に 1 人ずつそれぞれ同伴した。最初に、市民協働センターが住民アンケートの結果（世代間交流・イベント参加に関する項目を重点的に）を全体で共有した。その後、住民の意見交換会をパート 1 とパート 2 に分けて行った。パート 1 では、～29 歳、29 歳～64 歳、64 歳～の 3 世代が久芳に住みやすくなるような意見をそれぞれ出し合った。パート 2 では、各班で「世代間交流」「情報発信」「人材発掘」「子育て支援」のテーマ別に分かれて意見を出し合った。6 班のうち「世代間交流」が 2 班、「情報発信」が 2 班、「人材発掘」が 1 班、「子育て支援」が 1 班の振り分けであった。次回は 11 月 29 日の最終回で、これまでの内容を振り返りつつ久芳自治協議会での今後の活動を決めていく回になる予定である。
- ・ 活動の様子：写真の通り。



協働支援員が交流会に参加している風景



住民アンケートを報告している風景

その他の写真 <https://photos.app.goo.gl/GEZfsEQUcMhrFnGP7>

学生協働支援隊 福富町久芳地域 活動報告書

【住民意見交流会（久芳自治協議会のこれから）】

- ・ 日 時 : 2023 年 11 月 29 日
- ・ 参 加 者 : 合計 29 名（学生 4 名、地域 25 名）
- ・ 活 動 内 容 : 福富道の駅多目的ホールで、今後の久芳自治協議会の動きについて話し合う住民意見交流会が開かれた。学生協働支援隊は、意見交流会でのファシリテーションを行った。6 班に分かれた住民に、学生が 4 班と協働支援員が 2 班にそれぞれ 1 人ずつ同伴した。初めに、これまでのワークショップの内容を全体で振り返った。次に、自治会長が自治協の組織を紹介した後、それぞれの部会の代表者から過去に実施してきた活動と運営する上で課題だと感じる部分の 2 点について共有が行われた。こうして地域住民が久芳自治協議会についての概観をある程度確認したうえで、意見交流会が開かれた。パート 1 では①自治協の話を聞いての感想②変化すること③変化せず続けていくことが大切だと思ったことについて意見を出し合った。パート 2 では新しい久芳自治協議会の姿についてアイデアを出し合った。今回のワークショップで、住民による意見交流会と学生のファシリテーションは最後となった。今後は、協働支援員と久芳自治協議会のメンバーがこれまでのワークショップでの意見を参考にしつつ、来年度に向けて自治協の動きを決めていく方針である。
- ・ 活動の様子：写真の通り。



自治協部会員による説明の様子



意見交流会の様子

その他の写真 <https://photos.app.goo.gl/rUocpU128tRNJf747>

学生協働支援隊 福富町久芳地域 活動報告書

【学生協働支援隊の感想】

- ・ファシリテーターとしては、能力不足・経験不足ではあったと思うが、ワークショップ参加者に手助けをしていただくなどで、なんとか場を盛りあげることができた。自分自身、ワークショップに参加するごとに、ファシリテーション能力が向上していると実感でき、自分が成長する良い機会だった。また、久芳の住民が、久芳の将来の計画について考え、話し合う機会ということは余り多くないと思うので、このワークショップをきっかけにして、久芳がより良いまちになることを期待したい。
- ・貴重なファシリテーションの経験を積むことができた。最初は上手くいくかどうか心配だったが、なんとか地域の方に溶け込むことが出来た。住民の方も自分たちの地域についてあれこれ話をするのはなんだかんだ楽しいのだろうなという印象を持った。このような住民参加型のワークショップは、これからのまちづくりのトレンドになってくるのではないかと思う。将来、このようなワークショップに参加する機会があると思うので、今回の経験を活かしたい。
- ・ファシリテーターとして久芳の未来について本気の話し合いの場に参加することができ、貴重な経験を積むことができた。ファシリとして会議をコントロールすることはなかなか難しかったが、住民一人ひとりがこのまちについて考えていることを実感でき、良い刺激になった。このように久芳地域の住民だけでなく学生も成長できる場だったと感じた。